

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 15 日(2023.5.15)

【公開番号】特開 2022-30724(P2022-30724A)
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-030
【出願番号】特願 2020-134920(P2020-134920)
【国際特許分類】

F 1 6 D 65/097(2006.01)

10

F 1 6 D 55/228(2006.01)

【F I】

F 1 6 D 65/097 A

F 1 6 D 55/228

F 1 6 D 65/097 C

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 2 日(2023.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

このため、たとえば前進走行時に軽制動を行う場合、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれに作用するモーメント M 1 は小さくなるが、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a の前進時回入側部分(周方向一方側部分、図 5 の右側部分)において、モーメント M 1 の作用方向と、パッドクリップ 20 a (1 対のパッド押圧部 60 a、60 b)の押圧力の作用方向とを一致させることができる。このため、前述した従来構造のように、パッドクリップの弾力に抗して、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれを反時計回りに回動させる必要がない。したがって、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれに作用する小さなモーメント M 1 によって、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれを反時計回りに回動させることができ、第 2 モーメント伝達面 43 を第 2 モーメント支承面 33 に容易に当接させることができる。この結果、前進走行における軽制動時に、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれの姿勢を安定させることができ、ブレーキ鳴きの発生を抑制できる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0095】

また、後進走行時に軽制動を行う場合にも、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれに作用するモーメント M 2 は小さくなるが、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a の後進時回入側部分(周方向他方側部分、図 5 の左側部分)において、モーメント M 2 の作用方向と、パッドクリップ 20 a (1 対のパッド押圧部 60 a、60 b)の押圧力の作用方向とを一致させることができる。このため、前述した従来構造のように、パッドクリップの弾力に抗して、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれを時計回りに回動させる必要がない。したがって、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a のそれぞれに作用する小さなモーメント M 2 によって、インナパッド 3 a 及びアウトパッド 4 a の

50

【 図 7 】

